

# 今回の調査目的、協力をお願い

## 現状・課題

○心不全地域医療の実臨床においては、複数の併存疾患に対する多剤の内服、病院と診療所の連携・病院内での院内連携・診療所同士の連携不足などにより患者が十分な心不全治療を受けられていない現状がある。(日本循環器協会HPより) ⇒ 長崎県内における心臓病診療、連携上の具体的な現状や課題は??

## 目指す姿

○心臓病患者が病状の増悪や再発を予防し、住み慣れた地域で適切な医療を受けながら生活できるよう  
★医療機関間の連携の強化、★急性期から慢性期に至るまで切れ目のない医療連携体制を促進

→ 県内各地域における診療等の実態をよりの確に把握し、今後の更なる取組推進に繋げるため、実態調査に、どうぞご理解・ご協力をよろしくお願いします。

### 【アンケートの概要】

- Q 地域ごとに、診療内容の差がどの程度ある?
- Q (特にかかりつけ医が)診療で、課題と感じていることはどんなことか?
- Q 現在の連携の実態や課題は? 課題がある場合は、どのような背景や理由?
- Q 専門医とかかりつけ医の間で連携の際、認識の差はある?
- Q 今後かかりつけ医と専門医の連携がさらに促進されるには何が求められる?
- Q 心臓病手帳は、どのように活用されている? 課題は?

# 【参考】県及び長崎大学病院のこれまでの心疾患対策に関する主な取組

## 長崎県

### ◎「長崎県第2期循環器病対策推進計画」策定(R6年度～11年度)

- ・目標:「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸」  
「循環器病の年齢調整死亡率の減少」
- ・施策:「循環器病病のための生活習慣改善の推進」  
「保健・医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実」  
「多職種連携によるサービス提供体制の充実」

### ◎予防のための生活習慣改善の推進

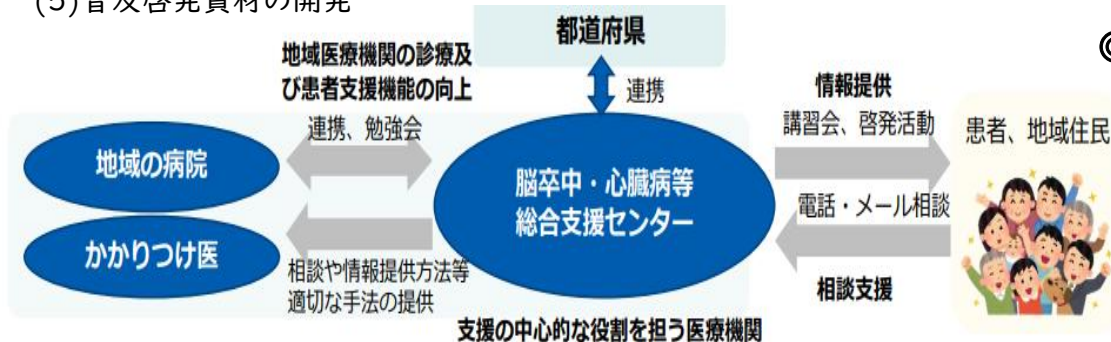
- ・健診の受診勧奨と受診機会の拡大、特定健康診査・特定保健指導を円滑に運営するための体制充実、特定保健指導実施率の向上、発症予防に向けた周知・啓発、ハイリスク者に対する発症予防・重症化予防対策の推進
- ・生活習慣の改善（長崎健康革命「運動」「食事」「禁煙」「健診」の推進）

### ◎長崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

- ・脳卒中・心臓病等患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携し、以下の総合的な取組を実施。(R6から長大病院へ委託)

#### <事業概要>

- (1)相談支援窓口の設置・運営
- (2)循環器病の予防等に関する情報提供・普及啓発
- (3)地域の医療機関等を対象とした研修会、勉強会の開催
- (4)循環器病患者の総合支援に係る検討会の開催
- (5)普及啓発資材の開発



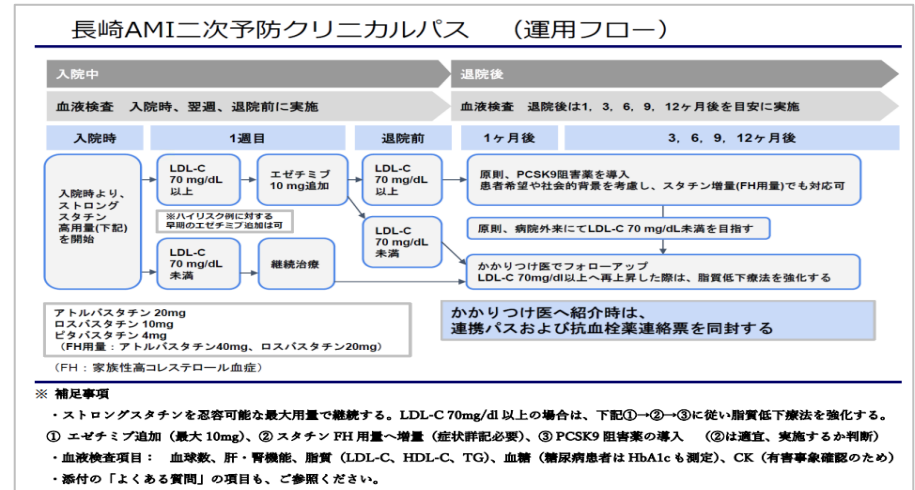
## 長大病院

### ◎長崎AMI二次予防クリニカルパスの運用(R4年度～)

- ・長崎ACS二次予防協議会が中心となり、クリニカルパスを運用推進。

#### <目的>

病院とかかりつけ医、患者で治療方針を共有し、心筋梗塞の入院中から退院後も連携し、切れ目ない治療を提供することで再発を予防する。



### ◎心臓病手帳の運用(R6年度～)

- ・心筋梗塞のほか、虚血性心疾患、心不全等にも対象を拡大。心臓病について病院、かかりつけ医、患者で病歴や、AMI二次予防クリニカルパス等に記載の治療目標を共有し、再発・重症化予防を目指す。

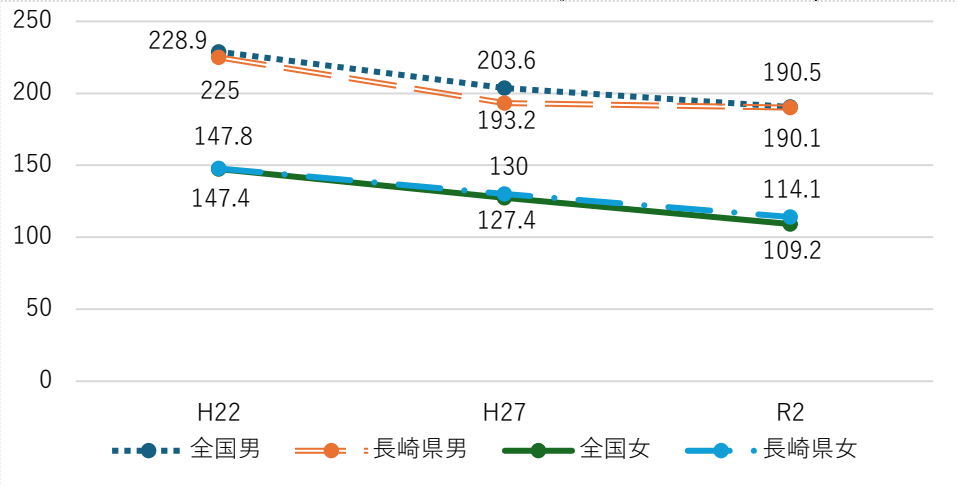
### ◎長崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の受託

- ・R5年度は国のモデル事業として開始し、R6年度から県からの委託事業により左記の各種事業を実施中

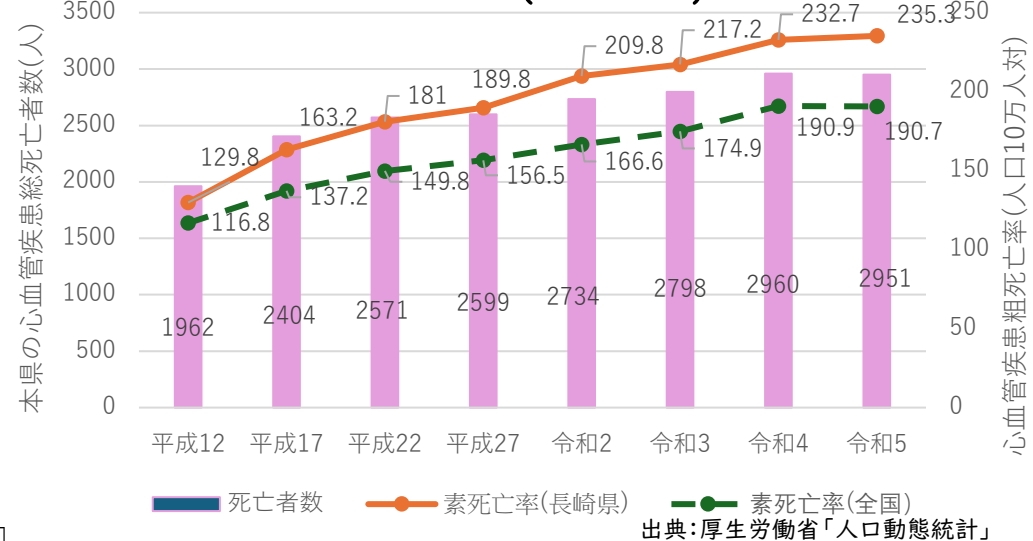


# 【参考】長崎県における心血管疾患の現況

◎県内の心疾患 年齢調整死亡率(人口10万人対)



◎県内の心血管疾患(高血圧性を除く)死亡者数・人口10万人あたりの死亡率(粗死亡率)



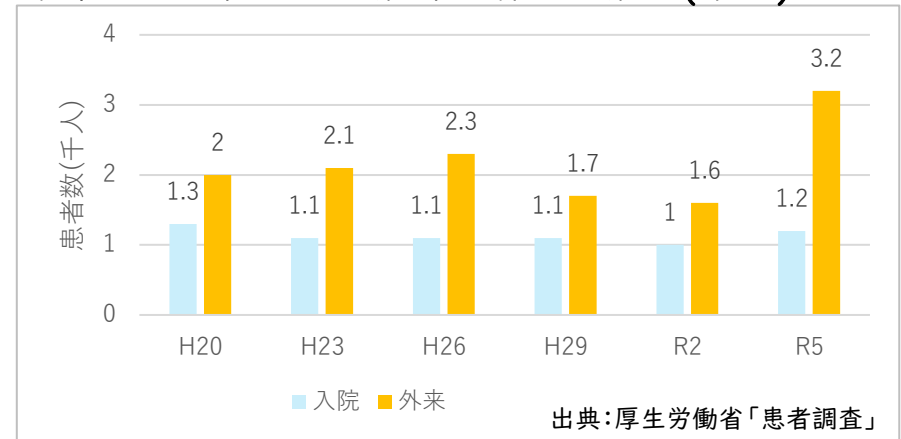
◎各疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)

|        |   | H27  |      | R2   |      | R2全国順位<br>(高い順) |
|--------|---|------|------|------|------|-----------------|
|        |   | 全国   | 長崎   | 全国   | 長崎   |                 |
| 急性心筋梗塞 | 男 | 43.3 | 57.4 | 32.5 | 38.8 | 13              |
|        | 女 | 20.4 | 26.6 | 14   | 14.1 | 23              |
| 虚血性心疾患 | 男 | 84.5 | 77.2 | 73   | 57.3 | 30              |
|        | 女 | 38.8 | 35.9 | 30.2 | 21.8 | 33              |
| 心不全    | 男 | 66.6 | 59.9 | 69   | 71.8 | 17              |
|        | 女 | 53.3 | 55   | 48.9 | 58.4 | 3               |

出典:厚生労働省「人口動態統計」

※年齢調整死亡率:高齢化等、年齢構成の違いを考慮し補正した死亡率

◎本県の心血管疾患の推計患者数の推移(千人)



出典:厚生労働省「患者調査」

※推計患者数:調査日当日に病院、一般診療所で受療した患者数をもとに年間推計された数

- 心疾患の年齢調整死亡率は、減少傾向(心不全は増加傾向)にあるが、全国平均値を上回っている。
- 心血管疾患による死亡者数は全国を上回り増加傾向。  
一方で、外来・入院の推計患者数は、ほぼ現状維持(R5除く)

# 【参考】長崎県における心血管疾患の現況

## ◎心血管疾患の急性期における医療機能

R4.1月時点

|           | 特定集中治療室<br>(ICU・CCU) | 冠動脈バイパス<br>術(CABG) | 経皮的冠動脈<br>インターベンション<br>(PCI) | 補助循環<br>装置 |
|-----------|----------------------|--------------------|------------------------------|------------|
| 長崎        | 2                    | 3                  | 8                            | 8          |
| 佐世保<br>県北 | 5                    | 2                  | 6                            | 6          |
| 県央        | 2                    | 2                  | 5                            | 5          |
| 県南        | 1                    | 0                  | 3                            | 3          |
| 五島        | 0                    | 0                  | 1                            | 1          |
| 上五島       | 1                    | 0                  | 1                            | 1          |
| 壱岐        | 0                    | 0                  | 0                            | 0          |
| 対馬        | 1                    | 0                  | 1                            | 1          |

出典：九州厚生局・県医療政策課調べ

## ◎心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)

|                  | 長崎県   |      | 全国   |
|------------------|-------|------|------|
|                  | R2    | R4   | 実施件数 |
| 入院心血管疾患リハビリテーション | 119.6 | 112  | 100  |
| 外来心血管疾患リハビリテーション | 113.1 | 68.3 | 100  |

出典：内閣府「医療提供情報の地域差」(NDB-SCR)

※NDB-SCR(標準化レセプト出現比)：厚労省が管理するデータベースをもとに、地域ごとの診療行為等の使用頻度を人口構成の違いを調整して比較できるようにした指標。

## ◎心大血管疾患リハビリテーション料届出医療機関数 R5.4.1時点

| 二次医療圏                                      | 長崎  | 佐世保<br>県北 | 県央  | 県南  | 対馬  | 五島<br>上五島<br>壱岐 | 長崎<br>県 |
|--|-----|-----------|-----|-----|-----|-----------------|---------|
| 心大血管リハビリテーション<br>(I・II)料届出医療機関数            | 12  | 9         | 6   | 4   | 1   | 0               | 32      |
| 心大血管リハビリテーション<br>(I・II)料届出医療機関<br>(人口10万対) | 2.5 | 3.0       | 2.3 | 3.3 | 3.8 | 0               | 2.5     |

出典：九州厚生局

➤ 急性期やリハビリテーションが対応できる医療機関には地域偏在がある

(目指す姿)

- 心筋梗塞等への迅速な治療・必要なリハビリが行われる
- 心不全患者をはじめとした心血管疾患患者の病状の増悪や再発を予防し、住み慣れた地域で医療を受けながら生活できる

➡ 急性期から慢性期、在宅医療まで、切れ目ない医療提供体制の構築が必要  
限りある医療資源の中、今後、益々の医療機関連携及び多職種連携が必要